

新たなごみの資源化施設について

新たなごみの資源化施設について、2023年12月の行政報告以降の進捗状況等を報告します。

1 資源ごみ処理施設（ビン・カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等）

資源ごみ処理施設整備は、昨年5月に改定した町田市資源循環型施設整備基本計画に基づき進めています。

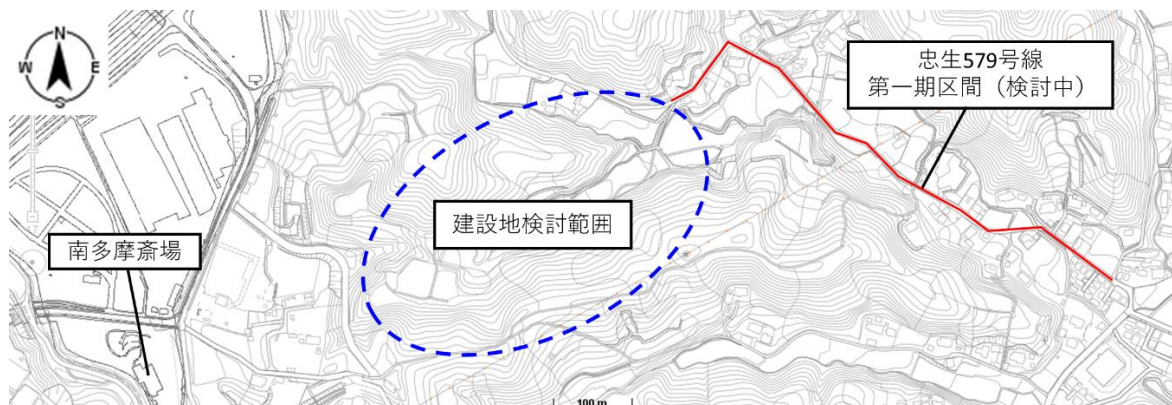
（1）相原地区資源ごみ処理施設について

施設用地については、2023年度内の取得完了を目標に関係者との調整を進めています。これまでに対象案件7件のうち4件について契約を結びました。

施設整備については、工事発注に向けた仕様書案の作成を行っています。有識者1名、関係6課（職員15名）で構成する検討会を設置し、設備等の検討を行うとともに、市民利用スペースの設えについて、当該地区に所在する町内会、自治会等の代表で構成する相原地区資源ごみ処理施設連絡会のご意見を踏まえながら作成作業を行っています。

（2）上小山田地区資源ごみ処理施設について

忠生579号線の道路整備が現道拡幅に変更となったことに伴い、整備される道路から施設へのアクセス道路が必要となることから、土地の高低差、造成規模などを考慮した施設計画位置の再検討を行っています。現在、施設計画位置周辺の町田市が保有している土地周辺の土地について、関係者の意向調査を行っています。



【上小山田地区資源ごみ処理施設建設地検討範囲】

今後も地域のご理解を得ながら整備事業を進めます。

2 町田市バイオエネルギーセンター（ごみ焼却施設、バイオガス化施設、不燃粗大ごみ処理施設）

（1）工事の進捗状況

旧清掃工場の杭引き抜き工事が完了し、現在はストックヤード棟の造成及び建築工事を進めています。今後は外構工事として、ごみ収集車等の庁用車用駐車場と緑の広場の整備も行っていきます。

工事にあたっては、引き続き、周辺への配慮に努め、安全第一に進めます。

また、事業者から工事請負契約書約款第 42 条『賃金または物価の変動に基づく施設整備費の変更』に基づくインフレスライド条項に関する協議の申し入れがありました。内容について精査し、適切に対応してまいります。

【熱回収施設等の整備スケジュール】

年		2023	2024									
月		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
解体工事	杭引抜	■										
	付属建物等撤去	■										
ストックヤード棟 外構工事	造成	■										
	建築		■									供 用 開 始
	外構										■	

↑ 9/30 工事完了



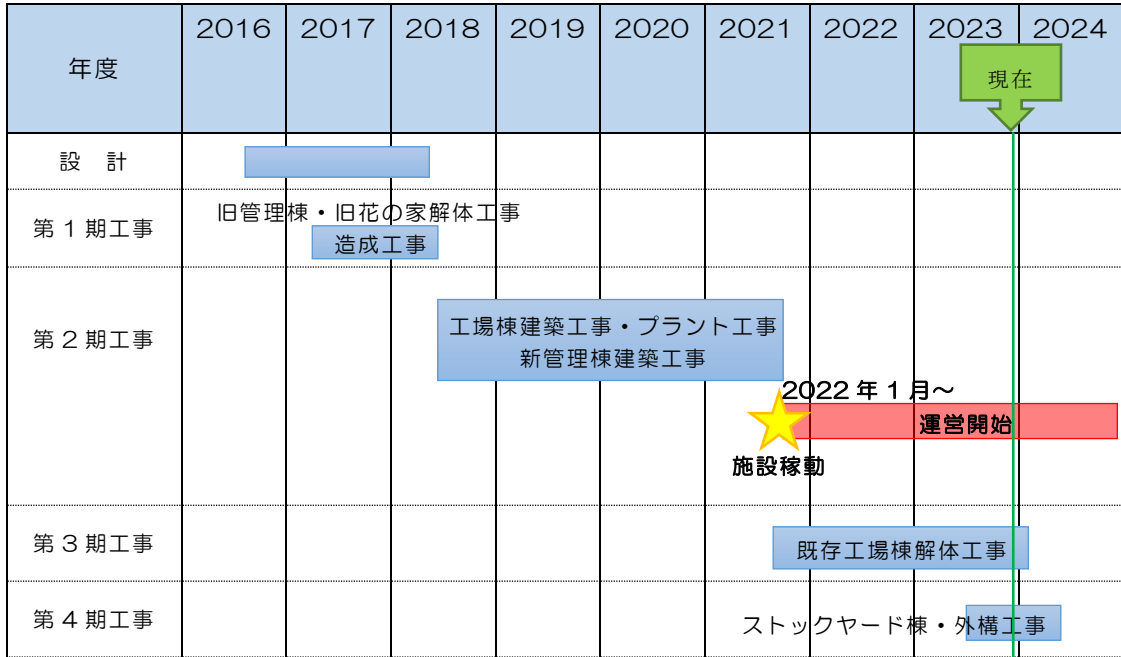
造成状況



ストックヤード建築工事状況（杭打ち）

【工事状況写真】

【熱回収施設等の整備スケジュール】（全体）



3 町田市バイオエネルギーセンター運営協議会について

町田市バイオエネルギーセンターでは、施設運営状況を近隣15町内会・自治会代表の皆様へ、施設運営の報告及び協議いただく場として、運営協議会を設置しています。2月9日に運営協議会を開催しましたので、その概要を報告します。

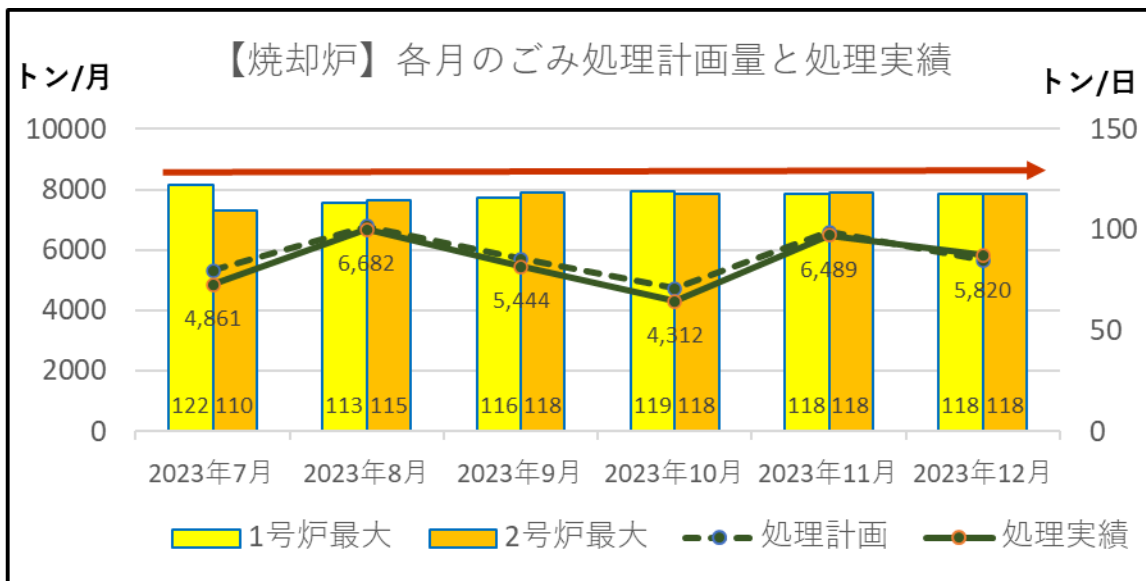
(1) 第6回運営協議会（2024年2月9日開催）

<主な議題とご意見等>

議題	内容	ご意見等
11月4日の火災について	バイオガス化施設で発生した火災の概要と影響、今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> リチウムイオン電池について、指定収集袋に注意事項を明示したり、小型家電の出しやすさ検討したりするなど対応を進めて欲しい。 町内会・自治会と市が共同し、一歩進んだ啓発活動が必要ではないか。 市民の出したごみが原因で火災が発生していることを、もっと市民に知って欲しい。
運転状況報告	各月のごみ処理計画量と処理実績の報告 (参考：図表1・2)	・ご意見はありませんでした。
	環境保全協定に基づく排ガス・臭気の各種測定結果	・ご意見はありませんでした。

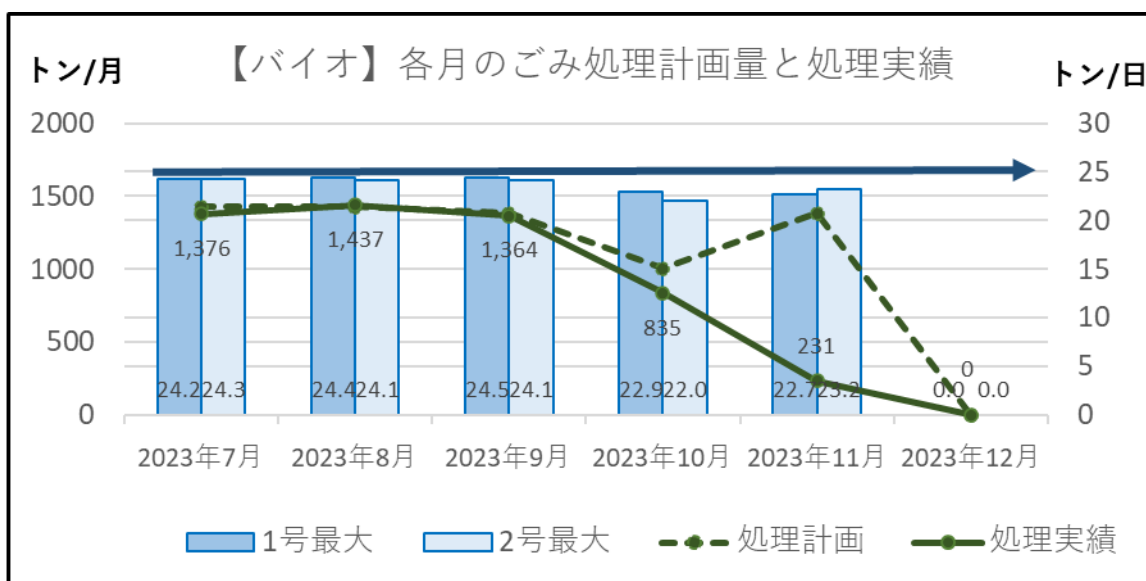
防災訓練の実施報告	町田市バイオエネルギーセンターで実施した防災訓練の報告	・能登半島地震があったが、バイオエネルギーセンターの耐震性はどうか。→震度6強でも機能を維持できる施設になっている。
その他	熱回収施設等整備事業の進捗状況の報告	・熱回収施設等整備事業の現在工事中の敷地全体はどのようなになる予定か。→緑の広場とストックヤードを整備していきます。

(図表 1)



※処理実績が赤線の定格能力を下回っていることを示しています。

(図表 2)



※処理実績が青線の定格能力を下回っていることを示しています。